



令和8年度は、『つなぐ』 明日も来たいと思える学校へ

保護者のみなさんと、地域のみなさんの応援を背に、大池中学校の子どもたちと教職員が一緒になり学校づくりに取り組んできた1年。1日1日を大切にに取り組んできた積み重ねを土台として、大池中学校の目指すべき方向性と、目指すべき学校づくりの指針を『令和8年度大池中学校 学校づくりビジョン』としてまとめました。最終的には新年度のコミュニティスクールにて承認が必要となりますが、今年度のコミュニティスクール運営協議会でも確認いただいているので、令和7年度の最終日となる本日の学校だよりに、以下のように紹介をさせていただきます。

『つなぐ』 明日も来たいと思える学校へ

令和8年度 四日市市立大池中学校 学校づくりビジョン



学校教育目標『心豊かに かかわる力 つながる力 そして、生き方につなげる力』の育成

【めざす子どもの姿】

- ・自分や他者を大切にする生徒
- ・地域を大切にする生徒
- ・何事にも粘り強くやりきる生徒

【めざす学校の姿】

- ・笑顔あふれる学校
- ・安心安全で優しさと思いやりのある学校
- ・保護者 地域とともにある学校

【学校経営方針】

かかわることを通して、一人一人の人権が大切にされる「仲間づくりを柱として、子どもたちを常に真ん中に置いて、子どもたちを大切にしたい心の通う教育活動をすすめる

【学校経営スローガン】

自分がすき！ 学校がすき！ 地域がすき！
かかわることを通して、すきをいっぱい伸ばせる学校



学校経営の重点となる 『4つのつなぐ取り組み』

<p>① 確かな学力の定着へ つなぐ</p> <p>わかる・できた・すき と思える授業づくり。学び合って、助け合って、共に学ぶ。自分らしく学ぶ。</p> <p>○自己肯定感を涵養する、安心して自分の思いを出せる授業づくり</p> <p>○学び合う、教え合う授業づくりを土台として、「そろえる教育」から、たくさん対話して助け合って共に学ぶ「一人一人を伸ばす教育」へ、そして、粘り強く誰も一人にしない授業づくり</p> <p>< このほか 2つの重点となる取り組みが記されます ></p>	<p>② 認め合う・支え合う環境づくりへ つなぐ</p> <p>安心して自分の思いを伝えることができる居場所づくりと場の設定、そして、信頼関係を強固に。</p> <p>○かかわることで、一人一人が安心して自分の思いを伝えることができる、聴くことができる居場所づくりへ</p> <p>○日常の学びの中に根付く、気づきと行動ができる寄り添える、人権感覚を磨く人権教育へ</p> <p>○心に寄り添う生徒理解・生徒指導、教育相談の充実へ</p> <p>< このほか 1つの重点となる取り組みが記されます ></p>
<p>③ よりよい社会を創造する力の育成へ つなぐ</p> <p>自分を取り巻く人との「つながり」を感じさせる、地域人材の活用と地域資源の活用の場の設定。</p> <p>○多様な人々との、地域の方々との出会いの場の設定へ</p> <p>○なりたい自分へ、自分の将来の生き方につながるキャリア教育の推進へ</p> <p>○御池沼沢植物群落の植物観察と保全活動への取り組み。御池古墳群を通じた地域歴史学習など地域を誇れる活動へ</p> <p>< このほか 2つの重点となる取り組みが記されます ></p>	<p>④ 子どもたちが主体となる自治活動へ つなぐ</p> <p>生徒会活動の充実と活性化、そして、生徒が主体となる実践場面の設定。</p> <p>○先輩の姿から学べる学校づくりへ（子どもたちが主体となって、責任感と目的意識をもった活動の場の積極的設定へ）</p> <p>○生徒会、室長会、リーダー会、班長会の充実とリーダー育成</p> <p>○学校づくりへの積極的な参画へ 積極的な縦割り活動推進</p> <p>< このほか 3つの重点となる取り組みが記されます ></p>

「育てたい生徒像」から逆算して考える柔軟な教育課程の編成へ(裏面へ続く)

令和8年度の大池中学校教育課程が変わります！

「次期学習指導要領に向けて、新しい教育活動を実施いたします」

次期学習指導要領の全面実施は2030年度（令和12年度）ですが、そこから新たな教育課程を編成し、新たな学校づくりをはじめは遅すぎます。現行の制度や環境の中で準備を進めていく必要性があります。2027年度（令和9年度）から2029年度（令和11年度）までの3年間において、次期学習指導要領改訂に向けた新たな教育課程への移行期間がはじまります。

大池中学校では、令和8年度『新たな学校づくりビジョン』を策定し、この機会に、国が進める『次期学習指導要領で実現する柔軟な教育課程』を一足早く実施することにしました。学習指導要領改訂の趣旨を理解し先取りし、多様な個性を持つ子どもたちが一人一人がその可能性を最大限に輝かせることができるように『調整授業時数制度』を活用した新しい教育課程を編成いたします。つきましては、主な変更点とねらいについて以下の通りに説明いたします。

1 新しい教育活動のねらい

現代社会の変化に伴い、いまを生きる子どもたちには「自ら学びを調整する力（自分らしく学ぶ力）」や「なかまとともに学び合って共に学ぶ協働する力」が求められています。大池中学校が令和8年度からすすめる新たな教育活動は、従来の一律の学習スタイルから一歩進み、独自性を出しながら、大池だからこその取り組みを教職員が一丸となって、柔軟な教育課程の中で、子どもたち一人一人が自己肯定感を高めることができるように、子どもたちと共に柔軟に学べる環境を整えることを目的としています。

2 主な変更内容

- ① 1年間を通して「8時25分～8時30分を『ころタイム』とし、荷物の整理整頓と、心の天気を実施し、8時30分からの「朝の確認」の時間にころを落ち着かせ、そなえる。（出欠確認は8時30分から）」

※全校生徒が時間と心に余裕とゆとりを持って少しだけ早めに登校することによって、通学途中の自転車事故を予防し、8時30分にころを落ち着かせた状態で1日を迎えるようにするため。そして、安心安全な学習環境を整理整頓から整えるため。

- ② 1年間を通して「8時40分から1限目」がはじまります。

- ③ 1年間を通して「1時間の授業時間を現在の50分から45分」に短縮。凝縮した45分間で集中力を高め、質の高い学び（量から質へ）を実現します。（午前中を45分の4限授業とし、頭が集中しやすい午前中に25分の学びの時間を増やします）」

- ④ 5分短縮で生み出された時間の活用「裁量的な時間（大池タイム《仮称》）」

※短縮によって生み出された時間を、以下の活動に充て、「学びの深化」を図ります。

■ 『大池タイム《仮称》』自らの学びを決める「25分の裁量的な時間」の有効活用

※以下の内容は現時点での案（仮称）です。今後、教職員間でアイデアを出し合います。

- スキルアップタイム・・・今年度まで実施していた「トライやる（10分の学習時間）」を <トライやるタイム> 3日間～5日間継続して実施することにより学習の基礎・基本の定着を徹底する時間です。
- マイプランタイム・・・自分で学習計画を立て、自分のペースで課題に取り組む「学びの自己調整」の時間です。
- 図書室タイム・・・全校すべてのクラスを「月1回をめぐにした図書室での読書活動」を行う時間です。
- 「話し合いたい」ム・・・行事への取り組み、作戦などをクラスや班で話し合ったり、生徒会からの提案について話し合っている時間です。

■ 8:25～ 8:30	ころタイム	（荷物の整理整頓と心の天気の実施）	
■ 8:30～ 8:40	朝の確認タイム	（出欠の確認と1日の予定確認、健康観察）1限目の準備	
■ 8:40～ 9:25	1限目	（45分間）	
■ 9:35～ 10:20	2限目	（45分間）	
■ 10:30～ 11:15	3限目	（45分間）	
■ 11:25～ 12:10	4限目	（45分間）	
■ 12:15～ 12:40	大池タイム	（25分間の裁量的な時間：学校の独自性を出す取り組み）	
■ 12:40～ 12:55	給食準備	（15分間）	
■ 12:55～ 13:15	給食	■ 13:15～ 13:30	片付け
■ 13:30～ 14:15	5限目	（45分間）	
■ 14:25～ 15:10	6限目	（45分間）	